

評価問題例

<問題>

バスケットボールのチームで、一番シュートが上手な人を考えます。上手だと思う順に名前を書きましょう。

	シュート数	入った数
たろう	10	4
なおこ	20	10
なおみ	15	9
のぼる	8	6

評価問題のポイント

【算数的活動の充実に向けて】

単元全体で学習したことを振り返りながら、関係図・線分図・背比べ図・百分率などを総合的に活用して問題を解くことで、学習内容の深化をねらった。

【算数科における言語活動の充実に向けて】

単元の学習の導入としてこの問題を紹介し、シュート数が違うときにどのように比べればよいのか考え、予想を書かせた。それを単元の最後に『割合研究レポート』として自分の言葉で問題解決の過程を表現できるようにした。

【実生活や他教科の学習での活用に向けて】

「割合」は、2つの量があるとき、一方が他方の何倍になっているかという関係を表す数である。児童の経験としては、シュート数が同じならば比べられるだろうが、このような問題を解こうとすることで、割合についての学習課題を持たせるようにした。